

沿海地方におけるハスの花の保全

自治体名：ロシア連邦 沿海地方

発表者名：ペレピョールキナ ポリナ アルセニエフ (Arsen'ev) 市立教育機関第1 総合学校

活動期間：2002～ 2004 年

活動場所：沿海地方、アルセニエフ市、ジュニア ナチュラリスト ステーション

活動人数：15 名

○ 実施結果

ジュニア ナチュラリスト ステーションで、ハスの花の栽培方法の研究、ハスの花の栽培可能な環境作りの実施。

○ 発表要旨

人間にとってハスの花は、ただの植物の一種だけではない。この植物はとても美しく、自然の何千年の歴史を含んでいるように感じられる。そのため、この植物が生育している殆どの湖は、天然記念物として登録されている。虎、朝鮮人参と共にハスの花は、沿海地方のシンボルとなっている。

環境学者によれば、この植物は環境状況のインディケータである。ハスの花は、環境変化にとても敏感であり、環境汚染が発生した時及び水質環境が変化した場合、真っ先に枯れてしまう。沿海地方は、一番北に位置するハスの花の生育地であり、この植物を将来のために保全するには我々の努力が必要と思う。

アルセニエフ市の付近には、数箇所の自然保護区域として登録されている湖がある。ハスの花が咲いている時期には多くの観光客が花見を目的に訪れる。残念ながら、人間の立ち入りが調整されてないため、また自然保護区域でのマナーも守られてないので、観光客が帰った後には周辺にたくさんのごみが散らかされて、多くのハスの花が折れている風景が見られる。

「ティーヒイ (Tihiy)」自然保護区域の管理人に頼まれて、私たちの学校の生徒は、「湖に入らないでください」という看板を作った。しかし、このような単純な活動だけでは、周りの人たちに自然環境を大切にしなければならない気持が伝わらないと思う。ハスの花を守るためには総合計画が必要である。

ハスの花は、極東地方のウスリースキー (Usuriyskiy) 地方、ブレインスキー (Bureinskiy) 地方、ニジネゼイスキー (Nizhnezeisukiy) 地方に生育している。沿海地方では、ハスの花は主にウスリー (Ussuri) 川流域の南部と中部地方、プリハンカイスカヤ (Prihankaiskaya) 平野部、ハサンスキー (Hasanskiy) 地方の南部、プチャーティン (Putyatín) 島に分布している。またキーロフ (Kirovskii) 地方やウラジオストック市の下町で人工栽培されている。海外では、中国、日本、朝鮮半島に分布している。

現在、一番効果的な植物の保護方法は人工栽培であるとみなされている。その方法は、特にコマロフ (Komarov) ハスの場合は、一番成功率の高い方法である。特に、東南アジアの国では昔からこの植物の人工栽培が行われ、その栽培地が今でも存在している。例えば、現在のインドでは、ハスの花の殆どの生育地は人が住んでいるところの周りにある。

2002 年にアルセニエフ市、ジュニア ナチュラリスト ステーションでハスの花の人工栽培事業がスタートした。ステーションで長さ 14 メートル、幅 9 メートル、深さ 0.8~1.2 メートルの池を掘って、2002 年秋にアルセニエフ市の北にある湖で採った 14 株のハスの花を植えた。ところで、この湖のハスの花も 1980 年代に当時の管理人によって人工栽培された植物であり、数多く育ち、現在とてもいい状態である。

我々の植えた植物の中で 85.7%が定着し、2003 年の夏に 4 つの花が咲いた。さらに、2004 年には、葉で覆われた池の面積が 20%に増加し、9 つの蕾が確認できた。

結果として、我々が作った環境の中でハスの花は 2 回の冬を越すことが出来て、順調に成長していくことが明らかになった。

来年は市ダムや近くの湖で栽培事業を行う予定である。